

日本マイクロソフト社会貢献プログラム「IT を活用した若者支援プロジェクト」

2013 年度 参加団体募集要項

1. 趣旨

2010 年より開始された「IT を活用した若者就労支援プロジェクト」(通称:若者 UP プロジェクト[事務局: NPO 法人「育て上げ」ネット])は、日本マイクロソフトと地域若者サポートステーションとが協働して実施し、IT スキル講習を就労支援メニューに組み込むことにより、若者の自信を醸成し、教育や雇用に係る環境等、社会参画への一歩を踏み出す事を目的としてまいりました。

その成果は、第三者評価機関である株式会社公共経営・社会戦略研究所発行の「IT を活用した若者就労支援プロジェクト」に係る評価調査からもみられる通り、同プロジェクトを導入していない他の地域若者サポートステーションとの比較や、同プロジェクト実施箇所内での非受講者との比較においても、総じて優位な成果(IT スキル講習を受講したサポートステーションの受講者の進路決定率は 45.5%であり、目標値の 30.0%を上回り、サポートステーションの全国平均 39.6%を 5.9%上回っている)をあげていることが確認できています。

経済雇用環境の悪化により、生活困窮者や不登校の状態にある児童生徒、再チャレンジを必要とする中途退学者、フリーター、無業状態など失業状態にある若者への支援体制作りは、社会全体で取り組まなければならない喫緊の課題です。

この度、「若者 UP プロジェクト」は、広く社会的な困難を抱える若者を支援する NPO との連携プロジェクトに拡充します。支援の専門家である NPO との連携を通じて、社会生活を円滑に営む上での困難を有する若者にとって、社会的自立の礎を築き、より良い教育や雇用機会の実現を目指してまいります。

2. 募集対象と募集数

若者の就労支援にとりくむ NPO 等の公益法人、30 団体。

3. 事業内容

①団体スタッフの IT 講師養成

「教える技術の研修」と「テキスト活用研修」をプロジェクトでご用意いたします。

参加必須です。詳しくは「6」をご覧ください。

②40 歳未満の若者を対象とした IT スキル講習の実施

団体が関わる若者就労支援の現場(複数可)で、IT スキル講習を開催していただきます。

1 団体につき、のべ 150 人～200 人に受講いただくことが条件です。

IT スキル講習は以下の 4 コースを、所定のテキストを用いて実施していただきます。

講習①:Word・Excel・PowerPoint を活用したビジネス文書の作成(標準 20 時間)

講習②:Access を活用したデータベースの構築(標準 20 時間)

講習③:WebMatrix と WordPress を用いた Web 制作(標準 20 時間程度を予定)

講習④:Word・Excel・PowerPoint の実務活用(標準 30 時間)

講習①～④は、それぞれ最低年1回は開催いただくことが条件となりますが、それ以上の開催につきましては、目標達成にむけて、団体ごとにニーズを踏まえて年間計画を立てていただきます。

ただし、コンスタントな受講機会を提供するため、1ヶ月に1回は、いずれかの講習を開催ください。

※ITスキル講習を受講するにあたり、若者自身のコスト負担は発生しないよう、お願いいたします。

ただし、寄付を募る、助成金を活用するなど、コスト負担を若者以外に求めることは妨げません。

助成事業等の枠組みが本プロジェクトを併用可能であれば、積極的にご活用ください。

③進路決定のサポート(就労支援サービスの実施)

ITスキル講習の受講者に、団体が実施している既存の就労支援サービスや、ITスキル講習受講者のための単発のサービスを活用いただくなどして、受講後6ヶ月以内の進路決定(1ヶ月以上の雇用や職業訓練の参加、進学など)をサポートしていただきます。なお、団体ごと、IT講習受講者の30%以上が「進路決定」することを目標に取り組んでいただきます。

④受講者数等のデータ提供と、受講後のフォローアップ調査の実施

受講者へのアンケート実施と回収、6ヶ月後の進路決定状況に関する追跡調査と事務局へのレポートのほか、第三者評価に必要なデータ・情報のご提供にもご協力をいただきます。

4. 事業実施期間

2013年4月～2014年3月末まで。

ただし、団体スタッフを対象とした「講師養成研修」等は2013年2月から実施いたします。

これら全てに参加いただけることが条件となりますので、ご注意ください。

会議・研修スケジュールなど、詳しくは、「6」をご確認ください。

5. プロジェクトから各団体への支援内容

①研修等参加費の補助

会議・研修に参加いただくための旅費を補助いたします。

補助用の予算を参加者数で割って補助いたしますので、全額とならない可能性がありますことをご了承ください。

②ソフトウェアの提供(日本マイクロソフトからの無償提供)

Upgrade版Windows7(Professional)、Office2010(ProPlus)を無償提供いたします。

ただし、パソコン本体は各サポステ運営法人にて用意いただきます(「6-②」参照)。

当プロジェクトでは、Windows7とOffice2010を使用いたします。

※ご提供できるWindows7はUpgrade版ですので、ご注意ください

※無償提供にあたり、別途、日本マイクロソフトへの申請が必要となります

③講師養成研修の実施

マイクロソフトの世界共通の認定トレーナー資格(Microsoft Certified Trainer: MCT)の取得要件にもなっているカリキュラムに準ずる内容で「教える技術の研修」を無償提供します(エッセンスを学んでいただくため、完全準拠ではなく、MCT資格の取得要件を満たしたことはありません)。

また、実際の講習で使用するテキストの「教えるポイント」を学んでいただくための「テキスト活用研修」も無償提供いたします。テキスト活用研修は、各アプリケーションを一から学ぶ研修ではなく、「テキストを用いて、いかに効果的な研修を実施するか」を目的としたものですので、研修前に、所定テキストの内容につ

いて予習いただく必要があります。こうした点も踏まえて、団体ごと講師候補者(=本研修受講者)を選考くださいますよう、お願い申し上げます。なお、過去なんらかの UP プロジェクトに参画されたことのある団体からは1名、新規の団体からは2名を上限に受講いただくことが可能です。

④マネージメント研修(運営管理研修)

本プロジェクトの円滑な事業運営のためのマネージメント研修の機会を提供いたします。

団体内で、本プロジェクトのマネージメントをする方が対象となります。

講師とは別の方でも、講師を担当する方が兼任いただいても問題ありません。

⑤テキストの無償提供:必要冊数+予備を無償でご提供いたします。

テキストは一冊 350~600 円程度かかるものですが、無料で若者に受講いただくことに資するために、実施目標数に応じて、プロジェクトより各団体に無償提供いたします。

⑥広報・集客キットとして、プロジェクト紹介ビデオ、プロジェクト紹介パンフレット等をご提供いたします。

⑦プロジェクトポータルサイトからの情報発信の場の提供(<http://www.ms-wakamono-up.jp>)

⑧受講者への日本マイクロソフトの「オフィス見学」の機会提供

6. 応募資格・条件等

①若者支援に取り組む公益法人であること

株式会社など、営利を目的とした法人のご応募は受け付けられません。

②自団体でパソコンが確保できること

Windows7 と Office2010 が動作するパソコンをご用意ください。

法人で保有していなくても、寄贈や貸与など、なんらかの方法で確保できれば問題ありません。

※ただし、リース等、団体に所有権のない PC に「5-②」のソフトを導入いただくことはできません。

プロジェクト協力企業より、特別価格にて中古 PC を購入いただくことも可能です。

デスクトップ PC (モニター等セット) で 1 台 2 万円程度、ノート PC で 3 万円程度です。

プロジェクト導入に興味はあるものの、PC 確保についてご不安がある場合には、ご相談ください。

③運営管理研修・講師養成研修に参加できること

運営会議・講師養成研修すべてに参加できることが条件です(実施予定日は以下を参照ください)。

受講費用はかかりません。参加のための旅費・宿泊費については一部補助をいたします。

2013年2月9日(土)・10日(日)・11日(月)、会場は日本マイクロソフト本社(品川)を予定

運営管理研修、テキスト活用研修、教える技術研修を開催いたします。

プロマネと講師兼任の場合は、全日程、ご参加ください。

プロマネと講師が別の方になる場合、プロマネの方は2/9のみのご参加で問題ありません。

講師の方は、全日程、ご参加ください。

※なお、上記日程では、講習①のテキスト活用研修のみを実施いたします。講習②・③・④については、2013年4月以降にテキスト活用研修を開催いたします。別途スケジュールリングいたしますので、講師となる方は、日程調整にご協力をお願いいたします。

④IT講習の受講者目標の達成ができること

「3-②」の通り、のべ150~200人が目標となります。この達成ができることが応募条件となります。

また、コンスタントな受講機会を提供するため、毎月、最低1開催できることも必要です。

「講習①が年10回、講習②・③・④は年1回のみ」のように、各講習の実施回数にはばらつきがあっても問題ありませんので、受講者ニーズに応じた実施計画のもと、目標達成をして下さい。

⑤データおよび報告書の提出

事業実施期間中に受講生に関するデータを提出いただきます。

また、事業期間終了後に実施報告書・経費報告書を提出していただきます。

なお、随時、日本マイクロソフトおよび事業評価機関、プロジェクト運営事務局からの求めに応じて、アンケート実施やヒアリングにご協力いただきます。

⑥事業期間終了後も継続的な取り組みとできること

2014年4月以降も、何らかの形で継続していただけることを重視しています。

申請書にて、期間終了後の継続方法についてご記入ください。

※なお、より良い形でプロジェクトを実施いただくために、選定時に条件がつくことや、申請時にご提案いただいた計画内容の見直しをしていただく場合があります。

7. 応募方法

所定の申請書に必要事項を記入し、2012年11月2日(金)中にメール添付にてご提出ください。

応募先は「9」を参照ください。

また、申請にあたってのご質問を以下の期間にて受付いたします。ご質問はメールでのみ受付いたします。

「9」にある応募先メールアドレス宛にご連絡ください。

| 質問〆切 | 回答予定 |
|--------------------|-----------------|
| 2012年10月26日(金)いっぱい | 2012年10月29日(月)中 |

※いただいた質問と回答はポータルサイトにて公開いたします→<http://www.ms-wakamono-up.jp>

8. 選考結果のお知らせ

選考結果は、全応募者に対して、2012年11月10日(土)までにご連絡します。

9. お問い合わせ先・応募先

若者UPプロジェクト事務局(NPO法人「育て上げ」ネット)、担当:山本

〒190-0011 東京都立川市高松町2-9-22 生活館ビル 3F

TEL:042-527-6051/FAX:042-548-1368/Mail:ms@sodateage.net